

# 福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会+

〒960-1295 福島市光が丘1番地／TEL (024) 547-1111 ホームページ <http://www.fmu.ac.jp/byoin/index.php>

## 新任挨拶

核医学科部長 志賀 哲

核医学科部長  
志賀 哲

2025年10月1日より、核医学科部長を拝命いたしました  
志賀 哲と申します。私が福島県立医科大学に赴任してから、5年が経過いたしました。この

間、核医学治療を主たる業務として、患者さんに最適な医療をお届けできるよう努めてまいりました。

本学附属病院の核医学治療施設は、日本最大規模の設備と症例数を有する施設であり、高度かつ多様な核医学治療に対応できる体制を整えております。これまで、甲状腺癌に対するI-131 内用療法、悪性褐色細胞腫・パラガングリオーマに対するI-131 MIBG治療、神経内分泌腫瘍(NET)に対するPRRT(Lu-177)治療など、数多くの核医学治療を行い、多くの患者さんの診療に携わってまいりました。

また、小児神経芽腫に対するI-131 MIBG治療については、現在、導入に向けて準備を進めている段階であり、安全性と治療体制の整備を慎重に進めております。さらに、12月からは去勢抵抗性前立腺癌に対する

Lu-177 PSMA 治療が承認され、新たに導入される予定です。

これらの治療はいずれも核医学科のみで成立するものではなく、甲状腺内分泌外科、消化器内科、消化管外科、腫瘍内科、小児腫瘍内科、泌尿器科といった多くの診療科と緊密に連携し、患者さん一人ひとりに最適な治療方針を検討しながら実施しております。

今後も、県内外の医療機関の先生方および院内各診療科との協力体制をより一層強固なものとし、福島県をはじめ県外の患者さんにも高度な核医学治療を提供してまいります。これまでの経験を生かしつつ、科員一同と共に核医学の更なる発展に尽力する所存です。

引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



## 第72号のなかみ

1ページ…○核医学科部長 新任挨拶

2ページ…○AYA世代がんの取り組み

○がんサポート教室のご案内

○医学部1年生 医療入門Aエスコート実習のご紹介

3ページ…○全国グリーンライトアッププロジェクト2025in福島

○混声合唱団「燐 (さん)」がクリスマスコンサートを開催しました

4ページ…○感染対策のご協力のお願い

○きいてください 院長さん 一より良い医大病院にするためにー

お得な情報満載の

ローソンアプリはこちらから →



# LAWSON

ローソン福島県立医科大学附属病院店（エレベーターホール隣）  
ローソン福島県立医科大学店（7号館内）

病衣・タオル・紙おむつ・日用品・付添寝具

手ぶらで入院・手ぶらで退院

入院セットレンタル

お申込・お問合せ先：レンタル受付窓口

024-548-8777



\*院内1階、入退院受付横 9番窓口  
月～土曜日 9:00～17:00(日祝祭日休日)  
土曜日はきぼう棟1階ローソン南側にて営業します。



15歳から39歳の思春期(Adolescent)および若年成人(Young Adult)に発症するがんは総称してAYA世代がんと呼ばれます。全がんの中では比較的まれですが、特に乳がん、甲状腺がん、子宮頸がんなど女性に多い傾向があります。この年代は、学業・就労・家庭形成など多くのライフイベントが重なる時期であり、がん罹患は身体面だけでなく、心理的・社会的にも大きな影響を及ぼします。このため、医師、看護師、薬剤師、リハビリテーション専門職、心理士、ソーシャルワーカーなど、多職種が連携した包括的支援が重要です。

8月31日、AYA世代がん Crosslink研修会が開催されました。講演では、県内におけるAYA世代がんの現状と課題、地域における支援モデル、他医療機関におけるAYA支援チームの取り組み、当院小児・AYAがん長期支援センターの活動などが紹介されました。グループワークでは、当院で支援チームを立ち上げる際の課題や必要な体制について活発な議論が交わされ、多職種連携の重要性が改めて共有されました。

本研修会を通して参加者間のネットワークが広がり、当院におけるAYA支援体制構築に向けた具体的なアイデアが多く生まれ、チーム発足への大きな一歩となりました。今後も院内外の連携を深め、AYA世代の患者さんにより良い医療と支援を提供できる体制づくりを進めてまいります。



## がんサポート教室のご案内

## 臨床腫瘍センター/がん相談支援センター

がんサポート教室は、患者さんやご家族などが、がんと向き合いながら、より良い日常生活を送るための知識とヒントを得る学びの場を提供することを目的にがん相談支援センターで開催しております。がんの治療は治療そのものだけでなく、生活上の不安や悩みなど、さまざまな課題に直面することがあります。本教室は、多職種のスタッフが療養生活(食事や運動など)の工夫、アピアランス(外見ケア)、社会制度の利用方法など、幅広いテーマを分かりやすく解説したり、参加者同士で思いや情報を共有したりする場となっております。

がんの診断前から治療後まで、患者さんやご家族の他、どなたでも参加いただけますので、がんに関する理解を深め、自分らしい療養のあり方と一緒に考えていく場として、ぜひお気軽にご参加ください。

なお、本教室は、不定期開催となりますので、開催日時は院内の掲示物でご確認いただなか、がん相談支援センターへお問合せください。

この他、がん相談支援センターでは相談員が対面や電話などでがんに関する相談をお受けしておりますので、お気軽にご利用ください。



がん相談支援センター

電話: 024-547-1088(直通)

## 医学部1年生 医療入門A エスコート実習のご紹介

## 教育研修支援課

本学では、令和6年度より医学部1年生の病院実習として、エスコート実習を行っております。エスコート実習とは、医学生が患者さんに付き添い、病院診療を疑似体験するもので、一つは、医学生が附属病院に受診に来た患者さんに付き添いながら、受付から検査、診察、会計等の一連の流れを理解することに加え、患者さんとの会話を通して、患者さんの気持ちを知ることを目的にしています。実習は、医療人育成・支援センター教員が病院入口で患者さんに声をかけ、同意を頂いた患者さんを医学生に引き合わせるとから始まりますが、患者さんへの実習の目的の説明や同意書へのサインを頂くことは医学生自身が行います。その後、それぞれの患者さんのスケジュールに沿って病院内を回ります。本実習では、一人の医学生が一人の患者さんに付き添うことを中心としています。このため、多くの患者さんの協力を得ながら実施しています。加えて、現場の医療スタッフのご理解とご協力がなければ、この実習は成立しません。この場を借りて関係する全ての皆様に感謝申し上げます。



▲実習のイメージ

臓器移植法が施行された10月16日は、家族や大切な人と「移植」のこと、「いのち」のことを話し合い、お互いの臓器提供に関する意思を確認する記念日「グリーンリボンデー」です。

この日を中心に、毎年10月は「臓器移植普及推進月間」と定められ、多くの人に臓器移植医療に対する認知と理解が広がることを願って、全国各地で様々なイベントや催しが行われました。

その取組の一環として、広く全国の著名なランドマークや建物を移植医療のシンボルカラーであるグリーンにライトアップする「全国グリーンライトアッププロジェクト」が開催され、当院においても、10月6日(月)から31日(金)までの26日間、ふくしまいのちと未来のメディカルセンター棟前の案内板の照明をグリーンにライトアップしました。

この活動を通じて、尊い命をつないでくださったドナー(臓器提供者)とそのご家族への深い敬意に加え、移植を待つ人たちへのエールを送るとともに、移植を必要とする患者さんの治療に全力を尽くすという、当院の使命を体現するため、引き続きまい進してまいります。



▲ライトアップされた案内板

## 混声合唱団「燐」がクリスマスコンサートを開催しました

教育研修支援課

12月6日(土)、みらい棟ホールにおいて医大学生による混声合唱団「燐(さん)」がクリスマスコンサートを開催しました。

このコンサートは、入院患者さんに歌の力で元気を届けるために開催されており、新型コロナウイルスの影響による中止期間がありましたが、昨年から再開されることとなりました。

当日は、入院患者さんや付き添いのご家族など多くの方々が来場され、クリスマス衣装に身を包んだ合唱団が「もうびとこぞりて」、「星に願いを」、「きよしこの夜」、「ジングルベル」の4曲を披露しました。演奏が進むにつれて会場は幻想的な雰囲気に包まれるとともに、観客の皆さんとの表情には次第に笑顔が広がり、心温まるひとときとなりました。

合唱団のメンバーたちは一人ひとりが心を込めて歌い、観客の皆さんとともにクリスマスの幸せを分かち合いました。入院患者さんやご家族にとっても特別な思い出となつたことでしょう。



▲クリスマスコンサートの様子

FUKUSHIMA NIIDA  
MODEL HOUSE  
GRAND OPEN

UNNO HOUSE ☎0120-36-1131

イベント情報 →

## 共に働く仲間を募集します！

正社員 (1年更新有)

### ■入院会計・診療報酬請求業務

勤務場所/福島県立医科大学附属病院

勤務時間/8:30～17:15 (昼休憩60分) 7時間45分勤務

給与/300床以上 5年以上の実務経験者 月205,000円～215,000円(手当含む)+交通費

上記以外の場合 月185,000円～195,000円(手当含む)+交通費

未経験者/要相談

賞与/年2回・4カ月支給

福利厚生/資格取得に関する補助金制度有

経験者大歓迎！

先ずはお電話ください ☎024-548-0800 (担当/高畠・岩倉)

創業52年、安心して働ける職場づくりを目指しています

東京医療化学株式会社

## 感染対策のご協力のお願い

感染制御部

現在はインフルエンザや新型コロナウイルスなどの呼吸器感染症が流行しやすい時期です。これらの感染症は、くしゃみや咳だけでなく、会話や呼吸の際にも目に見えないほど細かな感染性粒子が広がることが分かっています。お一人おひとりの対策が院内での感染拡大を防ぐ大きな力になります。

特にウイルスは鼻から入りやすいため、マスクは口だけではなく鼻までしっかりと覆うことが重要です。鼻が出ている状態では十分な予防効果が得られませんので、隙間のない着用をお願いいたします。

また、屋内と屋外の寒暖差が大きい場合は、窓を少し開けるだけでも換気の効果が期待できます。

あわせて、手指消毒や手洗いを行うことで、感染予防効果が更に高まります。

皆様のご協力ををお願いいたします。



きいてください 院長さん ～より良い医大病院にするために～

### いただいた御意見

「先生方に大変親身なってご対応していただきました。また、看護師さん、病院関係のスタッフの方々の温かい言葉、優しい笑顔等のお心遣いありがとうございます。安心して入院生活ができました。」

⇒ お褒めの言葉をいただき、誠にありがとうございます。  
今後も患者様に寄り添った医療を提供できるように努めてまいります。

「通院のたびに、会計の場所をどうにかできないかと思います。混雑する時間帯は、会計待ちの人や窓口に用がある人で混雑しています。会計の在り方について、少し見直しをしていただけたらありがとうございます。」

⇒ ご不便をおかけして申し訳ありません。当院では、会計待ち時間の解消と混雑緩和のため、自動精算機を増設し、現在1階・2階に各2台ずつ配置しております。また、「医療費後払いサービス」を導入し、スムーズにお帰りいただけるよう努めております。

「ドライヤーをかける部屋の使用を、16:15までにしてほしいです。  
シャワーが16:00までだと、急いでもぎりぎりになってしまいます。」

⇒ シャンプー室の使用時間を9:00～16:15に変更しました。  
(12月1日より)

### スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店

営業時間 平日 7時～20時  
土日祝 9時～19時

アメリカ シアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。  
高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやベストリー、サンドイッチをお楽しみいただけます。



すべてを地域のために  
**東邦銀行**

ご利用・お問い合わせは **福島医大病院支店**  
窓口営業時間：平日 [午前の部] 9:00から11:30  
[午後の部] 12:30から15:00  
電話 024-548-5331 受付時間：平日 9:00から11:30  
12:30から17:00